




1 / 1 2 (金) の発表

報道発表資料の配付日時 1月12日(金) 15:00

発表項目 (行事名)	「炭鉄港めし」の取組の受賞(スポーツ文化ツーリズムアワード2023 食文化ツーリズム賞)について
概 要	<p>スポーツ庁、文化庁及び観光庁では、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図るための政策連携の取組として「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。</p> <p>この度、スポーツ文化ツーリズムの優れた取組を評価し普及を図ることを目的とした「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」(※別紙参照)において、29件の応募の中から1月10日に計7件の受賞団体が選ばれ、炭鉄港推進協議会が「食文化ツーリズム賞」を受賞しました。受賞団体は、2月2日に開催される「第7回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」において表彰されます。</p> <p>オンラインスタンプラリーの実施</p>  <p>食べ歩きガイドブックの制作</p>  <p>セブンイレブンでの商品発売</p> 
参 考	
報道(取材)に当たってのお願い	炭鉄港の普及啓発のため、積極的な報道をお願いします
他のクラブとの関係	同時配付 空知総合振興局記者クラブのほか、胆振、後志総合振興局、同時レク 関係市町からも同時発表
担 当 (連絡先)	空知総合振興局地域創生部地域政策課(担当者:高井、毛利) TEL(ダイヤル)0126-20-0034(内線6450-2184)

「スポーツ文化ツーリズムアワード 2023」について

(1) 概要

スポーツ庁、文化庁、観光庁の三庁は、2016年3月に「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、2016年度から毎年、「スポーツ文化ツーリズムアワード」を実施しています。

スポーツ文化ツーリズムアワードとは、スポーツ文化ツーリズム（注）の推進に寄与する取組やイベントを公募し、選定・表彰を行うものです。第8回となる本年度では、応募のあった29件の取組やイベントの中から、計7件の受賞団体を決定しました。

注：各地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付けて、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、訪日外国人旅行者の増加や、国内観光の活性化を図り、日本及び地域経済の活性化を目指すこと。

【本賞】

- スポーツ文化ツーリズム賞
- スポーツツーリズム賞
- 文化ツーリズム賞

【特別賞】

- 武道ツーリズム賞
- 日本遺産ツーリズム賞
- 食文化ツーリズム賞

(2) スケジュール

2023年8月1日～9月29日	公募期間
11月10日	審査委員会
2024年1月11日	報道発表

(3) 今後について

2024年2月2日（金）に開催予定の「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」において、「スポーツ文化ツーリズムアワード 2023」表彰式を実施し、受賞団体に対して、三庁長官から表彰を行います。

(4) これまでの受賞団体・取組について

ホームページをご参照ください。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00028.html

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

炭鉄港推進協議会事務局



日本遺産を食で巡る旅「炭鉄港めし」プロジェクト



取組概要

明治から戦前、戦中、戦後にわたって日本の成長と復興を支えた、北海道空知の石炭をはじめとする産業革命「炭鉄港」のストーリーが、日本遺産として認定された。本取組は、炭鉱や製鉄所、港湾、鉄道関連施設で働いた人々の生活に根付いた食べ物を「炭鉄港めし」とネーミングし、2021年度には大手コンビニチェーンでの商品化や、観光案内所へのパネル設置を行い、2022年度には、実際に炭鉄港めしが食べられる店舗をまとめたガイドブックの制作及びオンラインスタンプラリーを実施。



評価ポイント

- 日本遺産のストーリーをしっかりと活用した取組で、その地域で味わえる食というところにフォーカスしている
- 大手コンビニチェーンと連携している点に新規性がある面白い。
- 地域の数多くの事業者と連携し、100km圏という広域連携を行っている。

第7回

スポーツ文化ツーリズム シンポジウム

同時
開催

4省庁連携セミナー



The 7th sports,culture,tourism symposium 4 ministries cooperation seminar

【日時】2024年2月2日(金)13:00～(【開場】12:00)

【会場】神田明神ホール(東京都千代田区外神田2-16-2 神田明神文化交流館2F)

【定員】●来場をご希望の方/150名 ●オンライン視聴をご希望の方/人数制限はございません

入場料無料、お申込み先着

【参加方法】●来場をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023.peatix.com>



●オンライン視聴をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023-online.peatix.com>



※シンポジウムは、事前登録制となっております。お申込みサイトよりお申込みください。 ※シンポジウムのスケジュール・登壇者は変更となる場合がございます。

第1部

主催 スポーツ庁 文部科学省 観光庁

表彰式・トークセッション

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」表彰式を開催します。
3庁の長官が一堂に会し、トークセッションも行います。

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」は、各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図る、優れた取組を表彰します。

【モデレーター】原田 宗彦氏



スポーツ庁長官 室伏 広治



文化庁長官 都倉 俊一



観光庁長官 高橋 一郎

基調講演

「スポーツ文化ツーリズムの最前線」

【講演者】原田 宗彦氏

大阪体育大学 学長 / (一社)日本スポーツ
ツーリズム推進機構代表理事

第2部

主催 環境省 スポーツ庁 文部科学省 観光庁

4省庁連携セミナー

【パネリスト】

【パネルディスカッション】
地域活性化・まちづくり
に寄与する高付加価値
ツーリズムとは

【モデレーター】山下 真輝氏
株式会社JTB総合研究所 主席研究員



江崎 貴久氏
有限会社オス
代表取締役



多田 竜三氏
ひなたMIYAZAKI武道
ツーリズム推進協議会
会長



立花 千月香氏
柳川藩主立花邸 御花
代表取締役社長



アレキサンダー・
ジョエル・
ブラッドショー 氏
合同会社GOTOKU
代表社員

第1部 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム

13:00	オープニング 主催者代表挨拶	室伏 広治 スポーツ庁長官
13:10	【基調講演】 「スポーツ文化ツーリズムの最前線」	原田 宗彦氏 大阪体育大学 学長／一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事
13:40	スポーツ庁、文化庁、観光庁の3長官によるトークセッション	室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 ※【モデレーター】原田 宗彦氏
14:15	スポーツ文化ツーリズムアワード2022 受賞団体動画放映	
14:30	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 表彰式	※プレゼンター 室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 2023年度各賞受賞団体代表者
15:10	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 受賞団体動画放映	

第2部 4省庁連携セミナー

15:20	オープニング 開会 概要説明	山下 真輝氏 (株式会社)TB総合研究所 主席研究員)
15:25	パネリスト紹介	【モデレーター】 山下 真輝氏 (株式会社)TB総合研究所 主席研究員)
15:45	パネルディスカッション	【パネリスト】 江崎 貴久氏 有限会社オズ 代表取締役 多田 竜三氏 ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長 立花 千月香氏 柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長 アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー氏 合同会社GOTOKU 代表社員
16:45	まとめ 閉会	山下 真輝氏 (株式会社)TB総合研究所 主席研究員)

第1部 スポーツ文化ツーリズムアワード2023受賞取組発表

2016年度から始まった「スポーツ文化ツーリズムアワード」。2023年度は、全国の応募の中から「スポーツ文化ツーリズム賞」「スポーツツーリズム賞」「文化ツーリズム賞」「武道ツーリズム賞」「日本遺産ツーリズム賞」「食文化ツーリズム賞」に選定された計7団体を表彰いたします。

【スポーツ文化ツーリズム賞】

日本最強の城「今治城」を中心にした
スポーツ文化ツーリズム
～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～
愛媛県今治市

【スポーツツーリズム賞】

里山に点在する古道を蘇らせ
新たな地域資源として発信!
「越後まつだい春の陣トレイルランレース」
越後まつだいトレイルランニング実行委員会

【文化ツーリズム賞】

「碓氷峠 廃線ウォーク」
～行き止まりのレールの先を、次の世代に～
一般社団法人 安中市観光機構

【武道ツーリズム賞】

外国人観光客向け
本格的弓道体験
～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～
一般財団法人 奈良市総合財団

【武道ツーリズム賞】

北海道福島町
「女だけの相撲大会」
～日本で唯一2人の横綱が誕生した町～
福島町観光協会

【日本遺産ツーリズム賞】

国指定史跡・日本遺産
～星降る中部高地の縄文世界～
「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」の
観光資源化
一般社団法人 下諏訪町地域開発公社 観光振興局

【食文化ツーリズム賞】

日本遺産を食で巡る旅
「炭鉄港めし」プロジェクト
炭鉄港推進協議会事務局

第2部 パネリストプロフィール

江崎 貴久氏

有限会社オズ 代表取締役

1997年、家業である旅館海月の経営を行う有限会社菊乃を設立。2001年、有限会社オズを設立し、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらぶ」を展開。現在、環境省中央環境審議会臨時委員、伊勢志摩国立公園や鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長等を務め、各地のリーダー・人材育成や、地域の活性化に取り組んでいる。

立花 千月香氏

柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長

福岡県柳川市出身。旧柳川藩を治めていた立花宗茂の末裔(第18代)。大学卒業後、東京の会社に3年間勤務。その後、アメリカへ留学しホテル経営を学び、株式会社御花へ入社。2015年に代表取締役社長に就任し、400年の大名文化を受け継ぐ国指定名勝「柳川藩主立花邸 御花」にて料亭旅館を運営している。受け継いできた文化財のさらなる魅力を引き出すため、「文化財を遊び倒す」をテーマに様々な活用を企画・実施している。また、まちづくりに積極的に関わっており、新しいイベント「やながわ水辺の夜市」を企画するなど、活動は多岐にわたる。

多田 竜三氏

ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長

宮崎県出身、剣道七段(47歳)。剣道具製造工場の家に生まれ、大学卒業後フランスを拠点に剣道普及活動を行う。1999年より剣道具輸出業を始め、2007年に株式会社日本武道宮崎を設立。その後、家業の技術を生かし革新的な剣道具「サード」を開発。武道ツーリズムを通じて、剣法発祥の聖地宮崎県を世界に発信。現在は、アフリカ事業の原動力に武道を活用することに注力。

アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー 氏

合同会社GOTOKU 代表社員

イギリス・シェフィールド出身。リーズ大学歴史学専攻。卒業後、システムエンジニアとして大手IT企業に入社。2005年来日。株式会社島津興業に入社し、海外営業部長を務めながら、鹿児島県の知名度向上に貢献する。2019年に設立したコンサルティング会社・合同会社GOTOKUに専念するために、2022年9月に島津興業を退社。現在、内閣府クールジャパンプロデューサー、鹿児島県海外広報官を兼任しながら、観光庁事業の選定委員、ならびに有識者も務める。日本全国で消えかけている伝統文化を守るため、文化観光の発展にも力を入れており、観光開発、アドバイザリー以外にも積極的に講演活動も行っている。